

2026年4月28日

各 位

会 社 名 ジーエルテクノホールディングス株式会社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 長 見 善 博  
(コード番号：255A 東証スタンダード)  
問 合 せ 先 取 締 役 財 務 戦 略 本 部 長 梅 原 幸 治  
(TEL. 03-4212-6677)

### 現下の中東情勢による当社グループへの影響に関するお知らせ

当社は、昨今の中東情勢により現時点において想定される当社のグループ業績への影響について、以下の通りお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 当社グループへの直接的な影響について

当社グループは、中東地域においては直接的な事業拠点や主要な仕入先・販売先を有していないことから、現時点では当社グループの業績に対する直接的な影響は軽微と考えております。

なお、分析機器事業では中東地域向けの販売活動を行っておりますが、一部の販売店からは物流の停滞や輸送費の高騰を見越した先行発注が見受けられております。

#### 2. 間接的な影響について

原油価格の高騰は、エネルギーコストの上昇を招く可能性があります。特に電力の使用量の多い半導体事業において、コスト増の要因になり得ると考えております。

また、カタールが主要な生産拠点の1つとなっている、ヘリウムの供給状況にも注視しております。ヘリウムは半導体の製造プロセスにおいても非常に重要な役割を担っており、ヘリウムの供給が不足した場合には、半導体事業の受注環境が変化する可能性があります。

なお、分析機器事業においても、ガスクロマトグラフにおける代表的なキャリアーガスとしてヘリウムが使われております。ヘリウムの価格が高騰した場合には関連する装置の稼働量が低下する可能性があります。ガスクロマトグラフに関してはヘリウムの代わりに水素や窒素などを使用できる場合もあり、業績への影響は限定的と考えております。

その他、資源価格の高騰や為替相場の急激な変動等が生じた場合には、マクロ景気の減速や各事業における顧客企業の業績変動を通じて、当社グループの業績に間接的な影響を及ぼす可能性があります。

### 3. 今後の見通し

当社といたしましては、引き続き中東情勢をはじめとするマクロ経済環境や市場動向を注視し、柔軟な対応を行いながら業績拡大に取り組んでまいります。

なお、今後の情勢の変化により当社グループの業績に重大な影響を及ぼす事象が発生した場合には、速やかに開示いたします。

以上